

「LINE Pay」における個人情報の取り扱いに関して

LINE Pay 株式会社
代表取締役社長 長福 久弘

2021年3月17日付の一部報道機関において、当社の親会社であるLINE株式会社が提供するコミュニケーションアプリ「LINE」の国内ユーザーの個人情報の一部が日本国外で取り扱われている旨（以下、本件）について、報道がありました。これに関連して、「LINE Pay」における個人情報の取り扱いについて、再度ご説明いたします。

利用者の皆様およびパートナー、企業、自治体等LINEに関係して下さっている全ての皆様にご心配とご迷惑をおかけしていることをお詫びいたします。

再度のご案内となりますが、本件につきましては、「LINE」に対して外部からの不正アクセスや情報漏えいが発生したということはありません。こちらは、「LINE Pay」も同様となります。また、LINEにおいて中国委託先で閲覧可とされたいた情報に「LINE Pay」の利用者の情報は含まれません。その他の国に関しては、個人情報保護委員会への報告のため現時点の状況の詳細を改めて調査しております。

■「LINE Pay」のデータの国内移転に関して

更なる安全性の確保と「LINE Pay」のサービス拡大に伴い、韓国のデータセンターに保管していたデータは、2020年より段階的に国内への移転を進めており、2021年9月の完了を目指しております。

■韓国でのデータの保管に関して

「LINE Pay」は、「LINE」と同様にグローバル展開を前提としたシステムとなっており、韓国においてもサーバーを構築しておりました。氏名、住所など本人確認に必要な情報や銀行口座情報といった、項目単体で個人の特長につながる情報については、暗号化したうえで、原則、日本のデータセンターにて集中管理をしております。「LINE Pay」の取引情報及び、一部の利用者情報に関しては、韓国のデータセンターで安全に保管しております。情報の性格や内容などに応じて適切に分離され、データの種類に応じて、法令で求められる安全管理措置を講じて保管しています。

「LINE Pay」において、日本および韓国のデータセンターで保管されているデータの詳細は以下の通りです。

【日本のデータセンターで保管されているデータ】
LINE Pay の本人確認情報（氏名、住所等）

【韓国のデータセンターで保管されているデータ】
LINE Pay の取引情報および一部の利用者情報*

*「LINE Pay カード」の番号及びカード配送先住所、不正検知システムに利用する全ユーザーデータ（住所、生年月日、決済に使ったクレジットカード保有者氏名等）、決済に利用するクレジットカード番号、「LINE Checkout」を利用しているユーザーの商品配送先住所。加盟店の企業情報・銀行口座番号等。なお、住所、氏名、カード番号など項目単体で個人の特定につながる情報に関しては、暗号化を実施しております。

■「LINE Pay」でのデータ保管による安全性対策に関して
「LINE Pay」では、データの取り扱いに関して、以下の安全対策を行っております。

①アクセス権限管理

データベースへのアクセス権限については、当社のセキュリティ方針に則り、責任者による承認を経た上で適切な権限付与を行い、厳格に管理しております。

②保管データの暗号化およびマスキングによる漏えい対策

委託先を含むシステム開発担当や運用者がサーバーへのアクセスを行った場合でも、利用者情報が露呈しないよう、当社のセキュリティ方針に則り、データベースの項目、又はフラットファイルそのものの暗号化またはマスキング処理を施すようにしております。

③各種アクセスログの取得とモニタリング

ログ分析については全サーバの情報システムアクセスおよびサーバアクセスログを保全しており、問題発生時の追跡対応を可能としています。これとは別に、親会社である LINE 株式会社の統制として、データベースへアクセスが行われた場合は、アクセス結果がリストアップされ、正当なアクセスであったかについて事後的に点検を行っております。

「LINE Pay」では、情報セキュリティ管理体制を整備し、安全かつ確実に保管を行っております。また、適宜運用の見直しにより、安全性・信頼性を継続的に高め、事件や事故の未然防止に努めており、引き続き対応をしております。